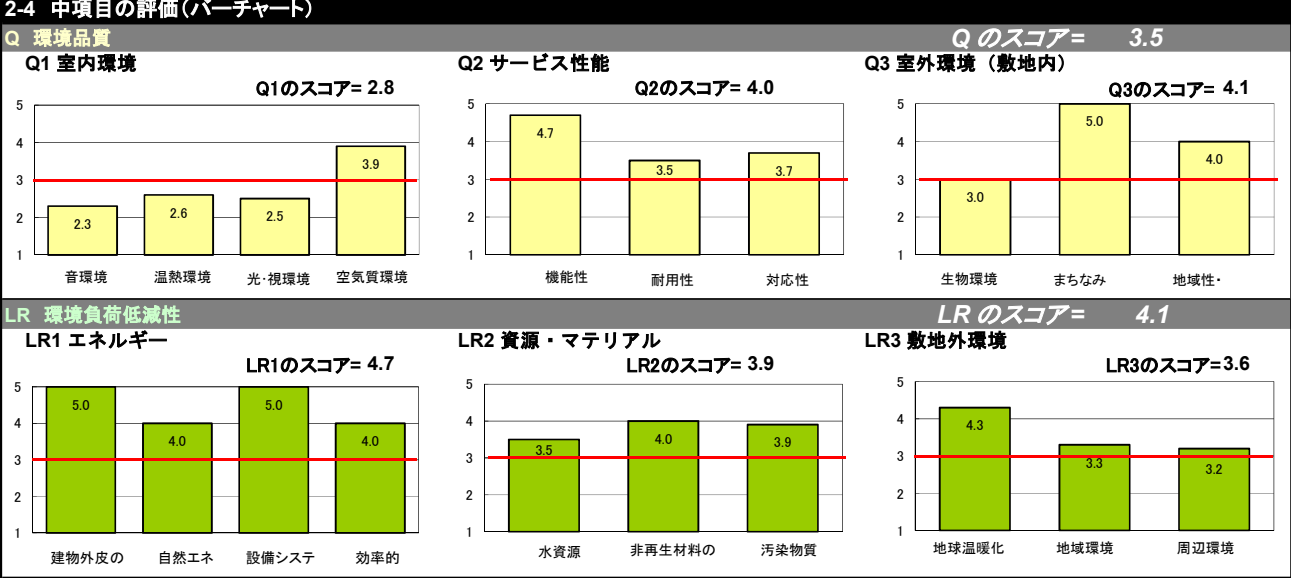
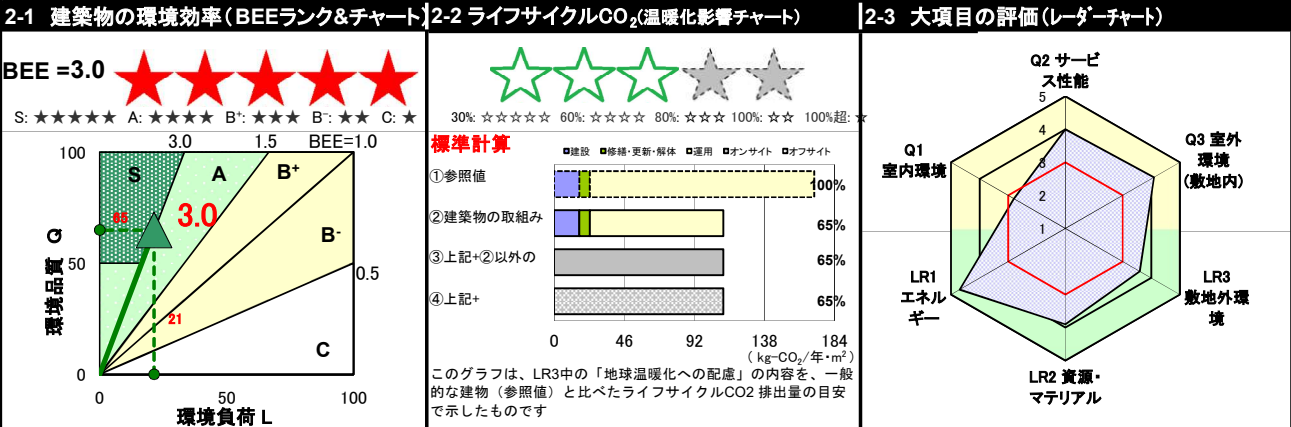


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	イオンモール須坂	階数	地上4F
建設地	長野県須坂市	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	23,000 人
地域区分	4地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2025年1月22日
敷地面積	155,093 m ²	作成者	岩崎 庸浩
建築面積	34,026 m ²	確認日	2025年1月22日
延床面積	92,212 m ²	確認者	竜田英行



3 設計上の配慮事項		その他
総合		
建物のグランドコンセプト「Tsunagu Suzaka」ひと、街、文化、そして未来を繋ぐ場。 外装には蔵の街並みをファサードに取り込み市街と景観のつながりを表現。 緑化による屋外広場や歩道状空地スペースを計画することで、人々を繋ぐ憩いの空間を提供している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・内装材はほぼ全面的にJIS・JAS規格のF☆☆☆☆の建築材料を採用している。 ・給気口は汚染源の無い方位かつ排気口から6m以上離れて設置している。	・売り場面積の4%以上のレストスペースを確保している。 ・屋外露出ダクト等の90%以上にガルバリウムダクトを使用し長寿命化を図っている。	・広場や歩道状空地スペースの確保やイベントスペースの確保をすることで空間提供・施設提供による地域貢献への取組みを行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率な設備機器等を導入しており、エネルギーの効率的利用に配慮した計画をしている。 ・ハイサイドライト、自然光を活用した照明計画を採用することにより、自然エネルギーの有効的な利用を計画している。	・躯体材料にリサイクル資材を採用している。 ・非構造材料にリサイクル材の使用をしている。 ・PRTR法対象の有害物質を含まない建材を使用している。	・駐車場の設置及び適切な駐車スペースの確保。駐車場の入口を複数設け、IN・OUTを分け車両幅を広く確保することで出入りを円滑にし、周辺道路への渋滞緩和に寄与した計画をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される